

平成20年度事業計画書

(社)日本ジュニアヨットクラブ連盟

(概要)

「国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2008」は、和歌山セーリングセンターに於いて8月初めに開催する予定です。例年より多く、5ヶ国より海外チームを招聘し国際交流を大きく広める計画を考えておりますので、全国のジュニアヨットクラブからも出来るだけ多くのクラブ、多くの選手の参加を頂き、安全な運営体制で大きな競技会にしたいと思っております。

5月に開催する東西日本地区大会は、東日本地区大会は山梨県山中湖村ヨットハーバーで、西日本地区大会は島根県安来市十神「なぎさ公園」で開催する予定になっております。両大会とも、それぞれ開催地のジュニアヨットクラブ、県連の皆様のご協力を頂きながら一緒に準備をし、大会中は参加クラブの指導者、保護者の皆様のご協力や参画を頂いて、費用をあまりかけない、皆の大会としたいと考えています。

一昨年度からの新しい企画、地域普及大会として、全国の各水域で順次に中規模の競技大会を開催し普及活動を推進したいと考えましたところ、幸いにも「アサヒ飲料株式会社」の特別協賛を頂くことが出来て、「2006三ツ矢サイダーカップ」として、北海道大会と東北大会に、補助金の提供とマークブイ、旗等運営資機材を貸与して開催する事が出来ましたが、昨年度は「アサヒ飲料株式会社」の特別協賛が頂けず計画通りの開催は出来ませんでした。然しながら清涼飲料水等の現物協賛と名称使用の許可を頂いたので、当初の計画の一部ではありますが、鹿児島ジュニアヨットクラブと鹿児島県セーリング連盟が鹿児島市平川ヨットハーバーで2月初めに開催を計画していた「九州ウィンターカップ」を、「2008三ツ矢サイダーカップ九州大会」として拡大した企画で共同主催しました。

この地域普及大会を継続する為、「アサヒ飲料株式会社」に再度協賛のお願いをした上で是非実施したいと考えており、今年度の計画詳細については改めて検討します。

今年の大分国民体育大会から、セーリング競技でも中学3年生の参加が2種目認められました。会員が代表する各ジュニアヨットクラブ、中学校でも、今まで以上に中学生のセーリングメンバーの増加に努力をして、各県セーリング連盟と共同して大勢の参加が出来るように、活動を活発化したいと思っております。

指導者研修会の開催やユースセーリング、ホームページの一層の内容充実を通じて、全国の会員への迅速な情報提供やクラブ運営の相談や情報交換等が積極的に行われるように努力します。

会長始め理事の努力により新しい賛助会員、特別協賛企業、広告掲載等のご支援も頂けるようになり、財務改善も進みました。然しながら、厳しい一般経済環境の中では、公的助成金の獲得は難しいので、限られた資金の効果的な運用と事務及び事業経費の節減を図っていく所存ですので、事情ご理解の上、当連盟の発展のため引き続きご協力をお願いいたします。

各理事、委員、事務局も一生懸命努力しておりますので、会費督促や現況報告等その他連絡事項になるべく手間隙がかからず速やかに事務処理が出来るよう、会員各位のご協力を宜しく願います。

(部門別詳細)

1. 総務関係部門

(1)新会員の獲得(総務委員会/普及渉外委員会/財務委員会)

(イ) B & G財団との連携を強化し、その傘下海洋クラブでセーリング活動をしていないクラブにもセーリングを採り入れるよう働きかけたり、既にセーリング活動しているクラブに当連盟への加盟勧誘をお願いしたり等努力します。各競技大会の開催の機会を含め、各クラブへ入るジュニアの増加や新規クラブの当連盟加盟促進に努力し、又、活動休止中或いは不活発なクラブへの支援に努力します。

(平成20年2月23日現在活動中67クラブ、休会18クラブ)

(ロ) 長期の好況にも陰りが出て来たといわれており、賛助会員の新たな加入勧誘は極めて難しい状況が続いております。現在は、「株式会社ライフサイエンス研究所」と「アサヒ飲料株式会社」の2社(15口)に加入頂いております。引き続き新しい会員の獲得に努力をします。各クラブにおいても種々アイデアを提案願うと共に、各地域の地元企業や個人への呼びかけや各地での勧誘活動にもご協力をお願いします。

2. 指導育成関係部門

(1)指導員育成事業(指導育成委員会)

(イ) 指導者研修会を実施し、公認指導員、公認準指導員を認定する。(年1回で2月の通常総会時に実施計画)

(ロ) 少年少女に奉仕の気持ち、地球環境を大切にすることを育つように、当連盟主催競技大会開催時には「海浜、会場清掃運動」を指導していますが、各クラブにおいても、日常のクラブ活動の中で「海浜の清掃運動」を柱に引き続き指導して頂くようお願いします。

3. 普及と広報関係部門

(1)普及活動事業(広報委員会/普及渉外委員会)

(イ) 全国大会や東西日本地区大会、各水域での地域普及大会の開催時等の機会を捉えて、各都道府県、関係市町村等の地方自治体、教育委員会等の当局への広報、陳情活動を行い、当連盟の活動への理解をお願いし、大会開催の後援、協賛、支援の要請を行います。

(ロ) B & G財団に対し、その傘下の海洋クラブの全国大会、東西日本地区大会、各水域での地域普及大会への参加の呼び掛けをして頂くよう働きかけ、協力関係を強化促進します。

(ハ) 連盟ホームページの一層の充実化を図り、連盟本部からの情報提供や会員からのイベント報告などをタイムリーに掲載出来るよう努力します。

(2)出版事業等(広報委員会)

(イ)機関誌「ユースセーリング」の発行

編集委員会を定期的開催し、新しい企画も含め、内容の一層の充実と定期発行(年2回、10月・3月)を目標とします。

(3) 競技会の開催(競技委員会)

- (イ) 第28回日本少年少女オープンヨット大会(東日本地区大会)
5月3日(土)~5日(月) 山梨県山中湖村ヨットハーバーで開催予定
- (ロ) 第28回日本少年少女オープンヨット大会(西日本地区大会)
5月3日(土)~5日(月) 島根県安来市十神「なぎさ公園」で開催予定
- (ハ) 国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2008
8月1日(金)~3日(日) 和歌山セーリングセンターで開催予定
- (ニ) 第18回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ2008)
9月7日(日)東京都若洲ヨット訓練所で開催予定
- (ホ) 2008三ツ矢サイダーカップ
アサヒ飲料株式会社への再度の協賛のお願いと並行して、開催日、開催場所について各地のジュニアヨットクラブ関係者と相談して行く予定です。

(4) 諸外国との親善交流事業(普及渉外委員会)

- (イ) 8月1日(金)~8月3日(日)に和歌山セーリングセンターで開催予定の国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2008に5ヶ国より外国選手を招待し、国際交流を予定します。(韓国、ロシア、ニュージーランド、アメリカ、シンガポール、オーストラリア、マレーシア、タイ等の中から5カ国)
- (ロ) 9月7日(日)に東京都若洲ヨット訓練所で第18回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ2008)を開催し国際交流を予定します。
- (ハ) 11月8日(土)~9日(日)に東京都若洲ヨット訓練所で開催予定の、第23回東京都・ソウル市ヨット交歓競技大会ジュニアヨットレースに支援を行います。

(5) ジュニアヨットクラブ安全対策事業(指導育成委員会/普及渉外委員会)

平成21年2月予定の通常総会時に開催の指導者研修会の機会に、安全関係の内容も講習します。 以上